

「ことば」と「かかわり」を、 あそびながら育てる。

ぐりーんの支援プログラムのご紹介



ぐりーんでは、「プログラム教材」を活用しています。発達支援の知見をもとに作られた教材の中から、お子さま一人ひとりの「ねらい」に合わせてスタッフが選び、その子に合う形にアレンジして使っています。

教材でサポートできる5つの分野



運動あそび
制作・運筆



ソーシャルスキル
話す・聞く・やりとり



学習・宿題支援
読み書き・計算



生活自立
はたらく準備



授業ツール
支援ツール

教材にもとづく支援だから、安心して続けられます

ぐりーんでは、ことばの発達段階に沿って組み立てられたプログラム教材を使い、担当のスタッフが個別支援計画や専門的支援計画に基づいて支援しています。

品質にばらつきが少ない

教材の手順にそって進めるので、
担当者による差が出にくい

段階的にレベルアップ

「今できること」を確かめ、次のス
テップへ段階的に

ご家庭とも共有しやすい

ねらいが明確なので、取り組み
を具体的にお伝えできる

こんなお悩み、ありませんか？

見学に来られる保護者さまから特に多いのが、「ことば」「気持ち」「友だちとのかかわり」についてのご相談です。ぐりーんでは、それぞれに合った教材と関わり方で支援しています。

「ことばがなかなか出ない」
「単語は言えるけど、会話にならない」

ぐりーんでは

写真や絵のカードを使い、「伝わった!」という経験から言葉を引き出します。発語の段階に合わせて、少しずつステップを進めます。

くわしくは P.3

「気持ちを伝えられず、かんしゃくや手が出てしまう」

ぐりーんでは

気持ちのことばカードや「きもちのおんどけい」で、今の気持ちに気づき、言葉で伝える練習をします。

くわしくは P.4

「友だちとうまく遊べない」
「順番やルールが守れない」

ぐりーんでは

少人数のゲームやワークで、順番・交代・勝ち負けの受けとめ方を、実際に体験しながら練習します。

くわしくは P.5

ぐりーんの支援 3つのポイント

1 目で見てわかる

絵・写真・文字のカードを使い、ことばの意味をイメージしやすくします。

2 楽しいから続く

ゲームやクイズの形で、自然と何度もくり返し練習できます。

3 小さなステップで

その子の「今」から始め、できたことを積み重ねます。



ことばや知識を広げる本・教材もそろえています

ことばは、7つのステップで育ちます

くわしくは P.3

1 見つめる・手を伸ばす

2 目を合わせる・指さし

3 声や音で伝える

4 ことばでお願いする

5 ものの名前・動きのこと

6 二語文で話す

7 質問に答える

01 ことばを育てる支援 発語・話す

ぐりーんで使っているプログラム教材は、ことばの発達順番に沿って7つのステップで組み立てられています。お子さまの今の段階を確かめ、「できた!」を積み重ねながら進めます。



身近な食べ物や物の写真カードで、名前を言う練習



カードを見せながら、やりとりを引き出します

- 1 見つめる・手を伸ばす** 欲しいものをじっと見る・手を伸ばすなど、ことばの前の「伝える」から始めます。
- 2 目を合わせる・指さし** 相手の目を見る、指さすなど、「人に向けて」伝える方法を増やしていきます。
- 3 声や音で伝える** どんな声でも大丈夫。声で伝わる楽しさを知り、「ぼー(ボール)」など単語に近い音へ。
- 4 ことばでお願いする** 「ちょうだい」「あけて」などの1語から、「ボール ちょうだい」の2語文へ広げます。
- 5 ものの名前・動き** カードで「どっち?」を選ぶ(わかる)から、名前や動作を言う(話す)へ。大小・長短も。
- 6 二語文で話す** 「あおい しかく」「なおが はしってる」など、ことばをつなげて伝えます。
- 7 質問に答える** 「このつみき何色?」「好きなおやつは?」など、質問に答えてやりとりを続けます。

スタッフが大切にしていること

- ・言い直しをさせるのではなく、正しい言い方をさりげなく返します(「ぶーぶ!」→「そうだね、赤い車だね」)
- ・答えを急がず、お子さまが話し出すのを待ちます
- ・言えたときは、その場で「言えたね!」と具体的にほめます

02 気持ちを知る・伝える支援

かんしゃくや手が出てしまう背景には、「気持ちをことばにできないもどかしさ」があることも。気持ちに名前をつけ、伝える方法を一緒に練習します。



「きもちのおんどけい」や「こえのおおきさ」の教材



気持ちや困りごとを伝えるカード・ボード

気持ちのことばカード

「うれしい」「こまった」「くやしい」など、気持ちを表すことばを知り、表情のイラストと結びつけます。

きもちのおんどけい

気持ちの強さを1～5で表します。「今は4、いろいろ」と自分の状態に気づき、落ち着く方法を一緒に考えます。

こえのおおきさ

ネズミ・ウサギ・ライオンの絵で、場面に合った声の大きさを目で見て確認します。

困ったときのカード

「わかりません」「待って」「トイレ」など、ことばが出にくいときも指さして伝えられます。

たとえば、ゲームに負けてくやしいとき

1

おんどけいを見ながら「今どのくらい？」と一緒に確かめます。

2

「くやしかったね」と、気持ちにことばをつけて返します。

3

深呼吸や「もう1回やりたい」と伝えるなど、次にできる方法を練習します。

めざす姿の例

くやしくて、たいてしまう



「くやしい!」とことばで言える

わからなくて、固まってしまう



「わかりません」カードで伝えられる

つい大きな声になってしまう



場面に合った声の大きさと話せる

03 友だちとのかわり 聞く・やりとり

友だちとのかわりは、実際にやってみることで身につきます。少人数のグループで、スタッフが間に入りながら、楽しく練習します。



少人数でのカードゲーム。順番や勝ち負けも練習です



スタッフと一緒に、ルールのある遊びに取り組みます

聞き取りゲーム

言われた順番どおりにカードを並べたり、動いたりします。

ねらい:最後まで聞く・聞いたことを覚えて動く

カードゲーム

神経衰弱などを少人数で行います。

ねらい:順番を待つ・交代する・勝ち負けを受けとめる

こんなとき、 どうする？

場面のイラストやSSTワークシートを見て、相手の気持ちや言い方を一緒に考えます。

ねらい:相手の気持ちを想像する・場面に合う言い方を選ぶ

買い物ワーク

「これください」と伝える、お金を払うなど、生活の中のやりとりを練習します。

ねらい:生活の場面で、ことばを使ってやりとりする

グループ活動でスタッフが大切にしていること

- ・始める前に、ルールや順番を絵や文字で確認し、見通しをもてるようにします
- ・トラブルになりそうな場面では、その場で一緒に「なんて言えばいいかな？」を考えます
- ・「順番を待てたね」「どうぞって言えたね」と、できたことを具体的にほめます

友だちとのやりとりで練習する、ひとことのことば

いれて

かして

どうぞ

ありがとう

ごめんね

まってね

やめて

04 教材を使った支援の進め方

教材は「なんとなく」使うのではなく、お子さま一人ひとりの目標に合わせて選びます。保護者さまと相談しながら、次の4つのステップで進めます。

1

ようすを知る

見学・面談や日々の観察から、得意なこと・苦手なこと・好きなことを把握します。

2

ねらいを決める

個別支援計画の中で、「まずはここから」という目標を保護者さまと一緒に決めます。

3

教材で練習する

ねらいに合う教材を選び、「できた!」を積み重ねられるよう小さなステップに分けて取り組みます。

4

ふりかえり・共有

できるようになったことをご家庭にお伝えし、次のねらいへつなげます。

05 年齢に合わせたプログラム例

未就学のお子さま

児童発達支援

- ・あそびの中で「ちょうだい」「どうぞ」のやりとりを練習
- ・気持ちのイラストで「うれしい」「かなしい」などの言葉を知る
- ・手先を使う制作や運筆で、道具を使う力も育てる

小学生

放課後等デイサービス

- ・会話のルール(話す順番、声の大きさ、話題の合わせ方)を学ぶ
- ・グループでのゲームを通して、協力やゆずり合いを体験
- ・宿題や読み書き・計算のつまずきも教材でサポート

中学生・高校生

放課後等デイサービス

- ・相手や場面に合わせた言葉づかい、困ったときの相談のしかた
- ・ストレスや疲れに気づき、自分に合う対処法を考える
- ・自分の「好き」「得意」を知り、将来の「はたらく」を考えるワーク



年齢やレベルに合わせた教材

教材は年齢やレベルに合わせて使えるよう準備しています。中高生向けには、ストレスとの付き合い方などを学ぶワークブックなどもあります。

06 ご家庭でもできるかわり

ぐりーんでの練習は、ご家庭とつながることでぐっと身につけやすくなります。今日からできる4つのヒントです。

くり返して返す

お子さまのことばを「そうだね、電車が見えたね」と受けとめて返すと、「伝わった」安心感と新しいことばが届きます。

短く、具体的に

「早くして」より「くつをはこうね」。してほしいことを短く、ひとつずつ伝えると動きやすくなります。

「どっち？」で聞く

「何が飲みたい？」より「お茶とジュース、どっちがいい?」。選べる形だと答えやすく、ことばも出やすくなります。

その場でほめる

「自分で『かして』って言えたね」と、できたことをその場で具体的に伝え、次もやってみようにつながります。



年齢やレベルに合わせたプログラム教材



気持ちのことばカードは、ご家庭での声かけのヒントにも

ご家庭と一緒に進めます

- ・個別支援計画は定期的に見直し、保護者さまと目標やようすを確認しながら進めます
- ・ご家庭での困りごと、どうぞお気軽にスタッフへご相談ください

ことばの段階に合わせた声かけ例

ことばが出る前

欲しそうに見たり指さしたりしたら、「ボールね、どうぞ」とことばを添えて応えます。

単語が出てきたら

「ボール」と言えたら、「赤いボールだね」と1語足して返します。

二語文が出てきたら

助詞が抜けても言い直させず、「ひかるが走ってるね」と正しい形で返します。

まずはお気軽に、見学・ご相談を

お子さまのようすやお悩みをお聞きしながら、実際の教材や活動の雰囲気をご覧いただけます。

ご利用について

- ・対象:未就学のお子さまから高校生まで(児童発達支援・放課後等デイサービス)
- ・ご利用には、お住まいの市町村が発行する「通所受給者証」が必要です。手続きについてもご相談ください
- ・利用者負担は原則1割で、世帯の所得に応じて月ごとの上限額が決まっています。就学前3年間の児童発達支援は、利用者負担が無償化されています(おやつ代などを除く)

奈良県内4拠点でお待ちしています

天理本店

〒632-0076 天理市岩室町57番地4

菅原支店

〒631-0823 奈良市西大寺国見町三丁目2番10号

橿原支店

〒634-0008 橿原市十市町843-2

田原本支店

〒636-0247 磯城郡田原本町阪手638-1



ご予約の際にお知らせいただくと、見学がスムーズです

お子さまの年齢・学年

気になっていること

受給者証の有無

ご希望の曜日・時間帯

見学予約・ご相談はこちら

0743-62-7557

受付:平日 10:00~17:00 / www.green-2017.com



ホームページ



ご利用案内



LINE 友だち追加で、もっと気軽につながれます

ことば・運動・生活リズムなど、子どもの発達に役立つ情報をお届けします。見学やご相談のきっかけにもどうぞ。QRコードを読み取って、友だち追加してください。